



※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年5月期3Q	14,883,300株	2025年5月期	14,883,300株
② 期末自己株式数	2026年5月期3Q	456,712株	2025年5月期	200,012株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年5月期3Q	14,511,773株	2025年5月期3Q	14,683,288株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(追加情報) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境などの改善により、景気は緩やかに回復しております。しかしながら、地政学リスクの高まりや米国の通商政策の動向、物価上昇による消費者の節約志向の継続など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、企業活動の活発化やインバウンド需要の高まりなどから客足は回復基調が継続しているものの、原材料価格や物流費の上昇、慢性的な人手不足は改善しておらず、消費者の生活防衛意識の高まりなどから今後の消費動向が懸念されております。

このような環境のなか、業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行ってまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、輸出販売の推進や新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は583億10百万円（前年同期比5.8%増）、水産品事業において商品破損事故の発生に伴い該当する棚卸資産1億61百万円の減失処理をしたことなどから営業利益は49百万円（前年同期比90.3%減）、商品破損事故に関連する補償金1億74百万円を受取補償金に計上したことなどから経常利益は1億95百万円（前年同期比63.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は99百万円（前年同期比84.6%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (外商事業)

当事業におきましては、調理の省力化につながる商品や、味や品質にこだわったプライベートブランド商品の提案など、顧客に選ばれる商品提案に注力するとともに、既存得意先との深耕や、給食、病院、中食など幅広い業態への新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は389億52百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は4億83百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

#### (アマカ事業)

当事業におきましては、各店舗において品揃えの充実化や営業活動の強化を図るとともに、メーカーフェア等の販売施策の展開、SNSやアプリ等を活用した販促活動の強化、家庭内消費に適したアイテム拡充など、外食事業者から一般消費者まで幅広いお客様にご利用しやすい店舗運営に努めてまいりました。新規出店については、2025年7月に松本店（長野県松本市）、同年10月に瑞浪店（岐阜県瑞浪市）を開業いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は173億55百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は6億77百万円（前年同期比26.3%減）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として54店舗であります。

#### (水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、輸出販売の推進や新規開拓の強化に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益性の向上を図るとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

しかしながら、中国への日本産水産物の輸出再開が不透明な状況にあり想定していたような輸出販売が実行できていないことや、商品破損事故の発生に伴い該当する棚卸資産1億61百万円について減失処理をしたことなどが影響し、水産品事業の売上高は21億11百万円（前年同期比15.5%増）、営業損失は2億89百万円（前年同期は営業利益26百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して受取手形及び売掛金が1億7百万円減少したものの、商品が3億51百万円増加したこと等により、流動資産は全体で2億99百万円増加しました。また、固定資産は、建物及び構築物が3億円増加したこと等により、全体で2億73百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して5億72百万円増加し、280億31百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が8億35百万円減少したものの、短期借入金が10億33百万円増加したこと等により、流動負債が全体で88百万円増加しました。また、固定負債は、長期借入金が3億93百万円増加したこと等により、全体で5億51百万円増加しました。その結果、負債総額は前連結会計年度末と比較して6億40百万円増加し、217億22百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して全体で67百万円減少し、63億8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月期の業績予想につきましては、2025年12月19日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	534,923	561,633
受取手形及び売掛金	7,548,230	7,440,430
有価証券	100,000	105,286
商品	5,802,782	6,154,141
貯蔵品	16,819	19,374
その他	1,182,193	1,200,916
貸倒引当金	△6,363	△4,002
流動資産合計	15,178,585	15,477,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,740,859	5,041,061
その他(純額)	3,563,522	3,346,470
有形固定資産合計	8,304,382	8,387,532
無形固定資産	62,405	72,855
投資その他の資産		
投資有価証券	1,338,458	1,605,092
その他	2,582,862	2,497,234
貸倒引当金	△7,327	△8,528
投資その他の資産合計	3,913,993	4,093,798
固定資産合計	12,280,781	12,554,186
資産合計	27,459,367	28,031,966

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,724,158	6,888,413
短期借入金	3,520,000	4,553,500
1年内返済予定の長期借入金	1,494,458	1,685,847
未払法人税等	137,102	—
賞与引当金	275,844	142,689
その他	1,440,307	1,410,131
流動負債合計	14,591,870	14,680,582
固定負債		
長期借入金	4,519,591	4,913,374
役員退職慰労引当金	352,652	368,571
退職給付に係る負債	419,809	436,243
資産除去債務	532,252	547,431
その他	666,654	776,794
固定負債合計	6,490,960	7,042,415
負債合計	21,082,830	21,722,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,482,063	1,482,063
資本剰余金	1,385,862	1,385,862
利益剰余金	3,403,576	3,284,883
自己株式	△33,904	△183,900
株主資本合計	6,237,598	5,968,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,041	310,029
繰延ヘッジ損益	11	113
退職給付に係る調整累計額	36,884	29,917
その他の包括利益累計額合計	138,937	340,059
純資産合計	6,376,536	6,308,968
負債純資産合計	27,459,367	28,031,966

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
売上高	55,119,321	58,310,477
売上原価	44,490,820	47,545,125
売上総利益	10,628,500	10,765,351
販売費及び一般管理費	10,113,598	10,715,503
営業利益	514,902	49,847
営業外収益		
受取利息	14,540	21,129
受取配当金	8,782	11,178
受取賃貸料	75,502	66,333
受取手数料	17,122	17,350
受取補償金	—	174,890
その他	15,217	21,980
営業外収益合計	131,165	312,863
営業外費用		
支払利息	41,741	73,493
賃貸費用	51,802	44,635
固定資産除売却損	6,821	11,977
その他	6,407	37,344
営業外費用合計	106,773	167,451
経常利益	539,293	195,260
特別利益		
固定資産売却益	—	73,055
損害賠償金収入	394,936	—
国庫補助金	77,920	41,876
特別利益合計	472,856	114,931
特別損失		
投資有価証券評価損	116	—
固定資産圧縮損	77,920	41,876
特別損失合計	78,036	41,876
税金等調整前四半期純利益	934,114	268,315
法人税、住民税及び事業税	209,802	82,350
法人税等調整額	76,197	86,334
法人税等合計	285,999	168,685
四半期純利益	648,115	99,630
親会社株主に帰属する四半期純利益	648,115	99,630

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
四半期純利益	648,115	99,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45,506	207,987
繰延ヘッジ損益	△616	101
退職給付に係る調整額	△5,400	△6,967
その他の包括利益合計	△51,523	201,122
四半期包括利益	596,591	300,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	596,591	300,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年6月1日 至2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	36,212,385	17,184,642	1,711,066	55,108,094	11,226	—	55,119,321
セグメント間の内部売上高又は振替高	158	17,004	117,028	134,191	—	△134,191	—
計	36,212,543	17,201,646	1,828,095	55,242,285	11,226	△134,191	55,119,321
セグメント利益	454,783	919,759	26,231	1,400,773	6,035	△891,906	514,902

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△891,906千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2025年6月1日 至2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外商事業	アミカ事業	水産品事業	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	38,952,430	17,338,484	2,008,292	58,299,208	11,269	—	58,310,477
セグメント間の内部売上高又は振替高	22	17,243	102,728	119,993	—	△119,993	—
計	38,952,452	17,355,727	2,111,021	58,419,201	11,269	△119,993	58,310,477
セグメント利益又は 損失(△)	483,414	677,862	△289,074	872,202	6,289	△828,644	49,847

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△828,644千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年6月1日 至 2025年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年6月1日 至 2026年2月28日)
減価償却費	466,433千円	472,141千円

(追加情報)

(財務制限条項)

当社グループの借入金のうち、シンジケートローン（当第3四半期連結会計期間末残高2,166,666千円）には、以下の財務制限条項が付されております。

1. 各年度の決算期の末日における連結及び単体の貸借対照表における純資産の部の金額を2023年5月決算期末日における連結及び単体の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%の金額以上に維持すること。
2. 各年度の決算期の末日における連結及び単体の損益計算書に示される経常損益がいずれも2期連続して損失とならないようにすること。

なお、当第3四半期連結会計期間末において上記財務制限条項には抵触しておりません。